

財政危機と連鎖する不祥事

◆私の注目点

文学・美術といった文化領域のトピックスを多く扱いたかったため、元々存在する「社会・文化」の欄に収めることができなかつたものを「その他」欄に収めました。神奈川県にある主要な美術館や文学館の展覧会情報をそこにまとめています。

またいわゆる「まっとうな正史」を編もうとしたらおよそピックアップされないが、サブカルチャーの歴史的に重要なイベントがこの時期の神奈川県で開催されているため、それも編者の裁量で取り上げることにしました。

◆こんな事がありました

太枠での出来事としては神奈川県の財政危機と官民双方での連続した不祥事がありました。それらは「バブル以後」かつ「震災・オウム以後」の情勢が時間差で県史に現れてきた事のようにも思われます。他方で明るい出来事としては野球でベイスターズと横浜高校の躍進が目立つ期間でした。

◆年表作成を通して考えたこと・感じたこと

1997年～2000年が国内的にどのような時代だったのかを振り返ると「インターネット以後、SNS以前の世界」の前半期に当たると思います。小林よしのりの『戦争論』が論壇とネットを騒がせ、『2ちゃんねる』が開設され、「西鉄バスジャック事件」の発生により「ひろゆき」が大手メディアに出るようになったのがこの頃です。

この時期の神奈川県で、教科書検定の歴史認識をめぐる横浜教科書訴訟が結審し、横浜の映画館で『南京 1973』の上映が右翼団体の妨害に遭い、保守系評論家の江藤淳が鎌倉で自死するといった一連の保守関連の出来事があったということは示唆的であると思います。

「保守系評論家」や「右翼団体」といった括り方がまだ有効に働いているということがいかにも「SNS以前」的な出来事だなと思われれます。例えば『南京 1973』の右翼団体による妨害という事件であれば、「SNS以後」の現在だとインフルエンサーが呼びかけてSNSで炎上したために上映を中止する、という流れが容易に想像できてしまいます。

同時代のそんなメディア・言説状況と呼応するような神奈川県の出来事を並べた時に私は「インターネット以後、SNS以前のかながわ」の姿を見たような気がしました。

【キーワード】

- 神奈川県警の不祥事
- 横浜市大病院の医療ミス
- ベイスターズ優勝
- 横浜高校の松坂大輔活躍
- 神奈川県の財政赤字
- 評論家・江藤淳死去
- 『南京 1973』上映妨害
- 横浜教科書訴訟が結審
- 『WIRE』開催

【こんな資料を参考にしました】

- 神奈川新聞
- 各美術館・文学館の図録や目録、および公式サイト
- キーボードマガジン